



FIELD FOUR DESIGN OFFICE



フィールドフォー・デザインオフィス

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 8階

TEL03-3539-2881

お問い合わせ [webmaster@field4.co.jp](mailto:webmaster@field4.co.jp)

photo Akito Goto

FIELD FOUR DESIGN OFFICE  
OFFICE RENEWAL

FIELD FOUR DESIGN OFFICE



# Concept of office renewal

コロナ禍を経てオフィスに対する考え方は大きく変わってきています。リモートワークが普通に行われるようになり、今後も企業の働き方に関する魅力の1つとして、また子育てに有用な制度として、ある程度ハイブリッドとして継続されることが予想されます。しかしながらリモートワークにはいくつかの課題があり、多くの企業ではこの3年の間で認識された事と思います。今回のオフィスリニューアルでは、それらの課題を解消するこれからのオフィスのあり様として、以下のテーマをコンセプトとしました。

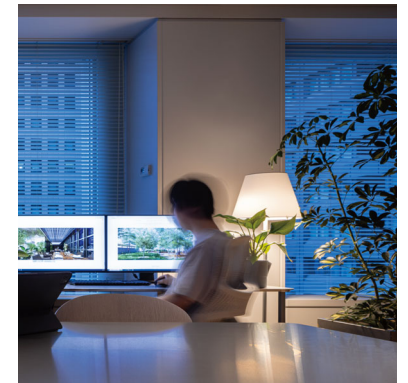
## 1. 多様なコミュニケーションの場

リモートワークで多く寄せられた声に「孤独」「雑談がしたい」「今やっている業務が会社の方向性として正しいかどうか判らない」等、コミュニケーションに関する課題が最も多く寄せられています。これは、オフィスの機能としてコミュニケーションが重要であることを再認識する結果となりました。コミュニケーションには様々なフェーズ（お客様、上司、同僚、協力会社等）があり対面、TV会議の場合があります。それぞれの状況に適った場があることがオフィスにとって重要です。



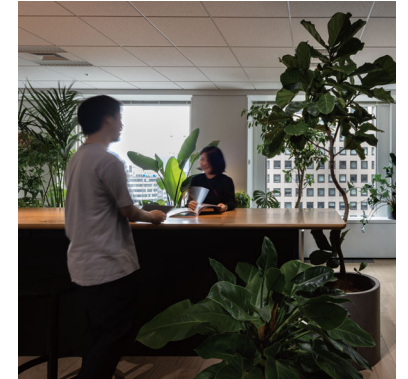
## 2. 創造性や生産性を向上する設え

コミュニケーションの課題と同様、リモートワークでは（特に在宅勤務）一日中パソコンと向き合っていることが多く、業務の創造性や生産性が懸念されていました。近年、コロナ禍と関わりなくバイオフィリックデザインというオフィスに自然を採り入れる考え方が軌を一にして注目を集めており、多くの先進的オフィスで採用されています。ある研究機関の調査によると、バイオフィリックデザインを採り入れたオフィスは、従前のオフィスに比べ創造性で+15%、生産性で+6%の効果があるとのこと。勿論、リモートワークにも長所があり、書類作成等の集中力を要する業務では生産性が向上します。今後はオフィスとリモートワークの長所を活かした、ハイブリッドな働き方が期待されます。



## 3. より健康的で快適な環境

健康的で快適なオフィス環境はコロナ禍以前から注目を集めており、Well-Being としてバイオフィリックデザインを採り入れることにより、精神的疲労を軽減したり、思考力を回復する他、植物の空気清浄機能による快適性の向上などの効果が言われています。前述の調査によると、社員の幸福度が従前に比べ+15%の効果があるとのこと。コロナ禍で社員の健康に対する意識が高まった事もあり、これからのオフィスに必要な考え方になると思います。





# Introduce concretely

## 1. 多様なコミュニケーションの場

様々なコミュニケーションの様態を想定し、以下の場を設けた。

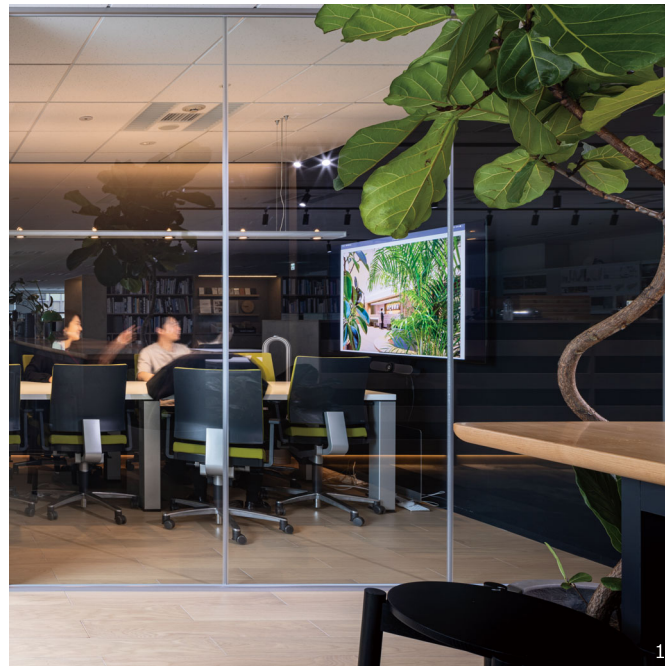
- ・会議室 1.2.3...お客様との打ち合わせ、及び TV 会議に使用。(遮音環境)
- ・マテリアルコーナー...マテリアルのショールーム的なデザインとし、フリースペースとして使用。マテリアル作業、お客様とのマテリアルに関する打合せ、協力会社との打合せ、大人数での打合せ、大判図面を広げての作業、打合せ等に使用している。
- ・パントリースペース...パントリーには高品質のコーヒー豆、紅茶茶葉を常時用意している。コーヒー豆を挽きながら、若しくはコーヒーを飲みながらの社員同士の雑談等のコミュニケーションが促される。パントリーに連続するハイカウンターは、少人数での打合せ、立位での作業、専門雑誌の閲覧、昼食テーブルなどに使用している。
- ・ソファコーナー...リラックスした状態でのコミュニケーションスペース。社員同士の打合せや報告、連絡、相談、雑談、執務席を離れたの黙考などに使われる。
- ・作業打合せテーブル...上司や同僚との実務的な打合せに使われる。

## 2. 創造性や生産性を向上する設え

かつて第一工房を主宰していた故高橋先生から、創造性の高い環境についてお伺いしたことがある。曰く「人は緑の中でそよ風を受け、葉擦れの音を聞き、木漏れ陽の動きを感じ、小鳥の鳴き声を聞くような環境でこそ良いアイデアが浮かぶ」と仰っていた。この先生の言葉は前述のバイオフィリックデザインそのものであり、当社のオフィスリニューアルにおいて、これを実現すべく様々な工夫を行っている。オフィスの入口にはライトアップされた樹木があり、内部の印象を象徴しながらお客様を出迎える。オフィス内は陽光が入る窓側に様々なコミュニケーションスペースを配し、多くの植物をそれぞれの場の特徴を考え設置した。植物たちはサーキュレーターにより僅かに葉が揺れている。

その為、木製収納の色は緑の色を阻害しないように工夫している。古来、日本の建築は自然との融合がエッセンスとなってきたが、その最たるものとしての「投入堂」の木部の色を木製収納に再現することを目指した。

結果として、オフィス内にいる人には植物が鮮やかに目に入ってくる。そして緑の中でそよ風を受け、葉擦れの音を聞き、木漏れ陽の動きを感じることができる。また、この空間はサーカディアン照明により一日の自然な光を感じることができる。



1. 会議室 1.2.3  
3. パントリースペース

2. マテリアルコーナー  
4. ソファスペース

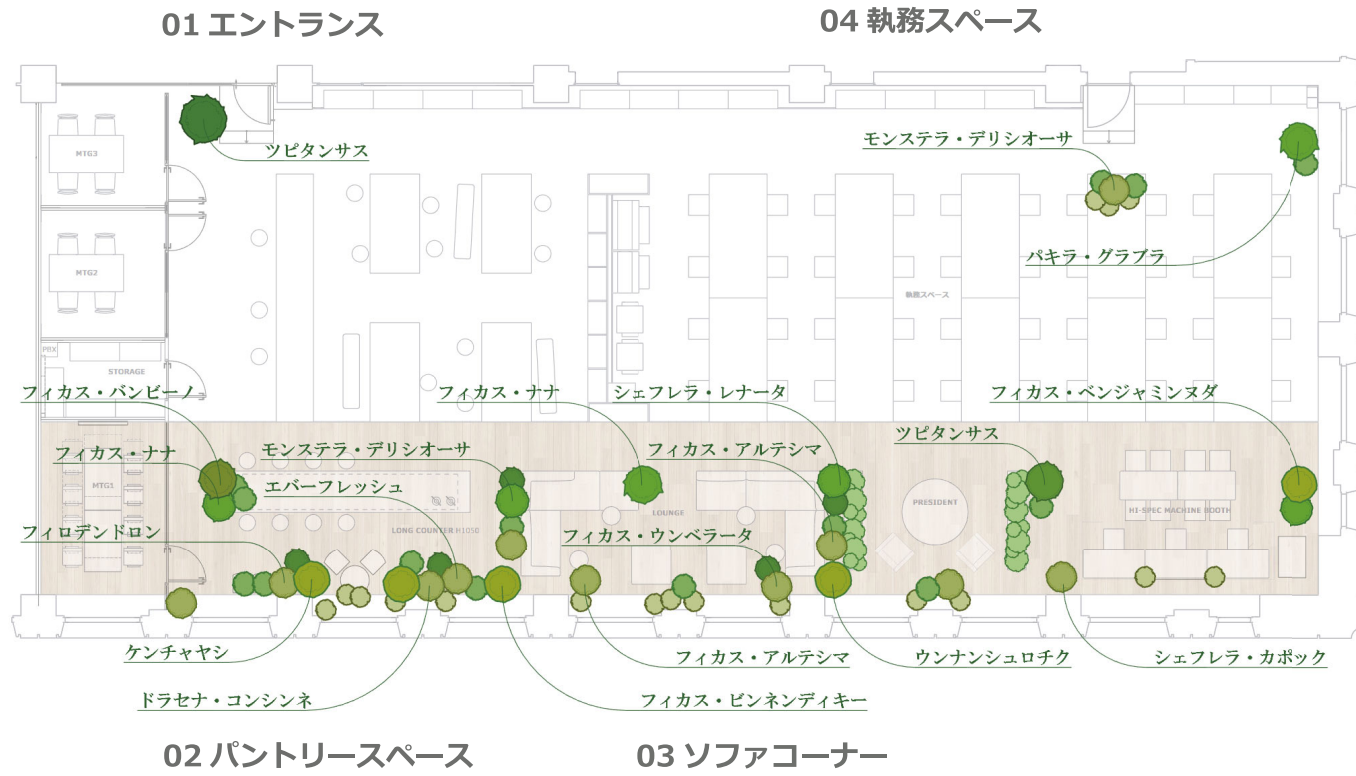




# Introduce concretely

## 3. より健康的で快適な環境

バイオフィリックデザインを実現するため、オフィス内の各コーナーにそれぞれその場に適した植物を配置した。



### 01 エントランス

エントランスには幸福を意味するツピタンサスを配置。厚く綺麗な艶のある濃緑色の葉は優美に曲がり、柔らかな印象でお客様をお出迎える。



### 02 パントリースペース

リズムよく配置された樹々によって木漏れ日や潤いを感じ、思わず外を眺めながら会話したくなるようなパントリー。明るい光環境や湿度を好むモンステラとフィロデンドロンが潤いを与え、エバーフレッシュやアレカヤシが風に揺られ、清涼感のある雰囲気創っている。



### 03 ソファコーナー

大小様々な植物がファニチャーとの間合いを創りながら配置され、多様なコミュニケーションを創造する。葉に広がりのある濃緑のシェフレラが白色のレザーと調和した癒しの籠り空間となっている。



### 04 執務スペース

葉張りの大きい植物を視線上に配置することで、どこに居ても植物の緑を享受できるような執務空間。